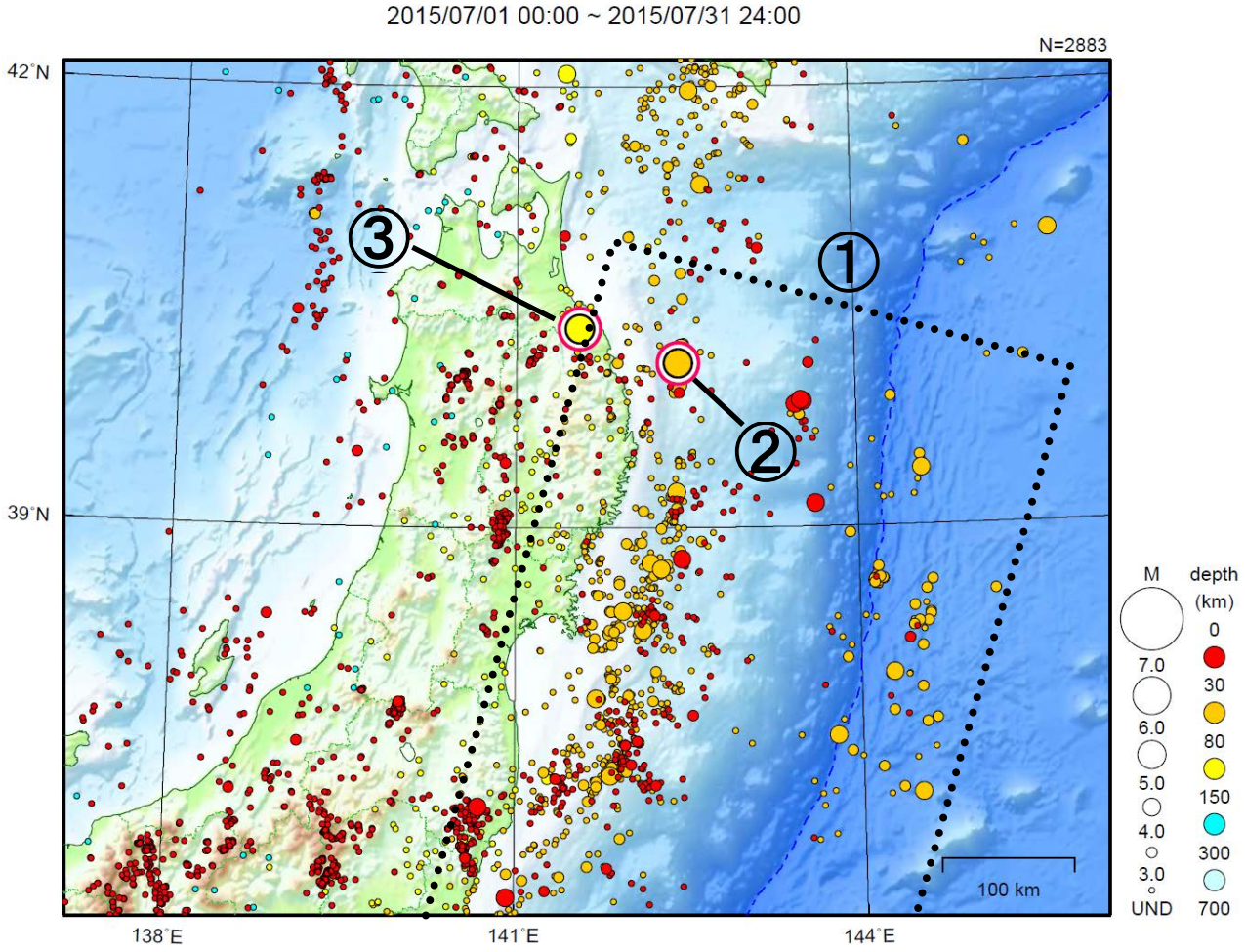
東北地方



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

① ７月中に、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域内では M5.0 以上の地震が１回発生した（関東・中部地方も参照）。また、最大震度４以上を観測する地震はなかった。以下の②の地震活動は、東北地方太平洋沖地震の余震域内で発生した。

② ７月９日に岩手県沖で M5.1 の地震（最大震度３）が発生した。

③ ７月 10 日に岩手県内陸北部で M5.7 の地震（最大震度５弱）が発生した。

情報発表に用いた震央地名は〔岩手県沿岸北部〕である。

（上記期間外）

８月３日に福島県沖で M5.1 の地震（最大震度３）が発生した。

８月５日に福島県沖で M5.0 の地震（最大震度３）が発生した。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度４以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度３以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度３以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

気象庁・文部科学省

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2015 年７月は、領域ａ（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は１回発生した。また、最大震度４以上を観測する地震は発生しなかった。

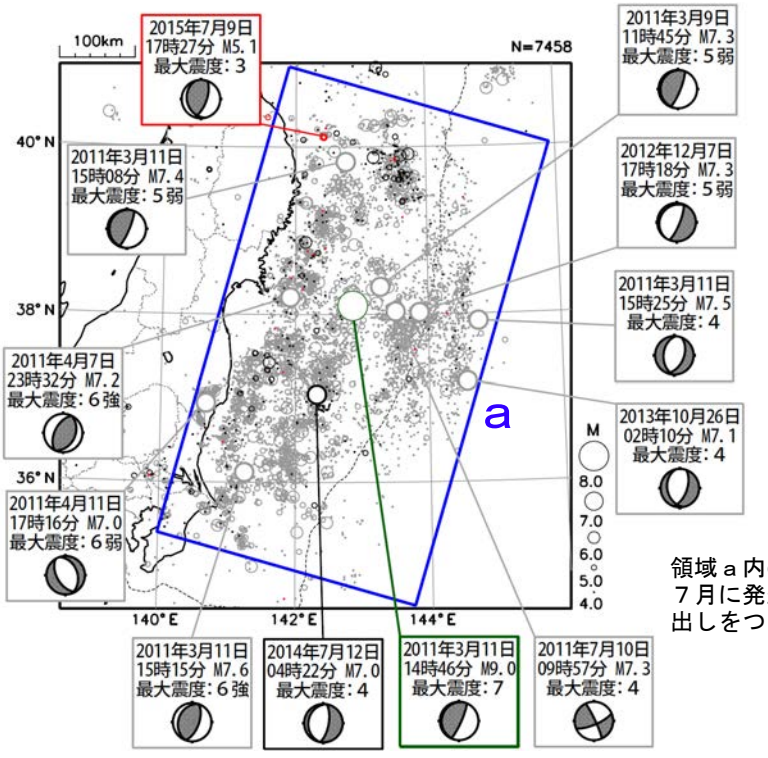
2011 年３月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は次第に少なくなってきているものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

領域ａで 2015 年７月に発生した M5.0 以上の地震は以下のとおり。

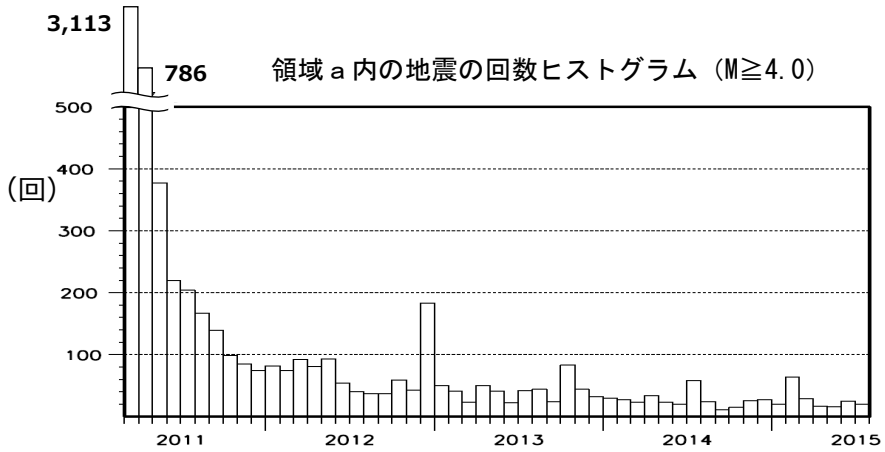
2015年７月に領域ａ内で発生したM5.0以上の地震

発生日時		震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT解）
07月09日	17時27分	岩手県沖	5.1	5.3	3	東西方向に圧力軸を持つ逆断層型

震央分布図
（2011 年３月１日～2015 年７月 31 日、深さすべて、M≧4.0）
2011 年３月からの地震を薄く、2014 年７月から 2015 年６月の地震を濃く、
2015 年７月の地震を赤く表示。発震機構は CMT 解。



領域ａ内の M7.0 以上の地震と 2015 年７月に発生した M5.0 以上の地震に吹き出しをつけた。

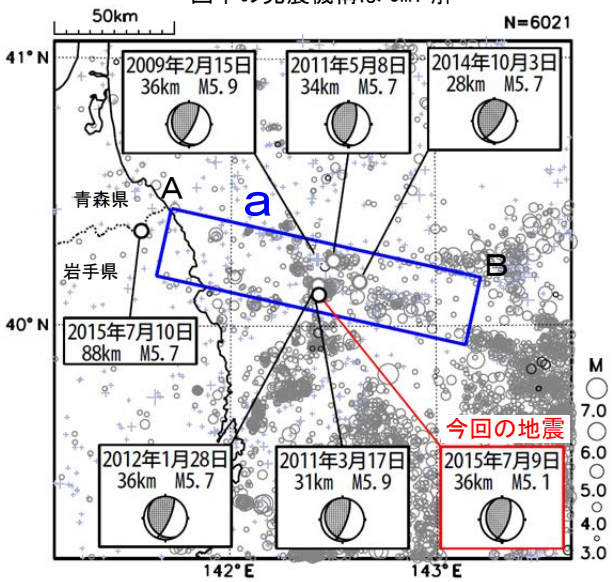


領域ａ内の地震の回数ヒストグラム（M≧4.0）

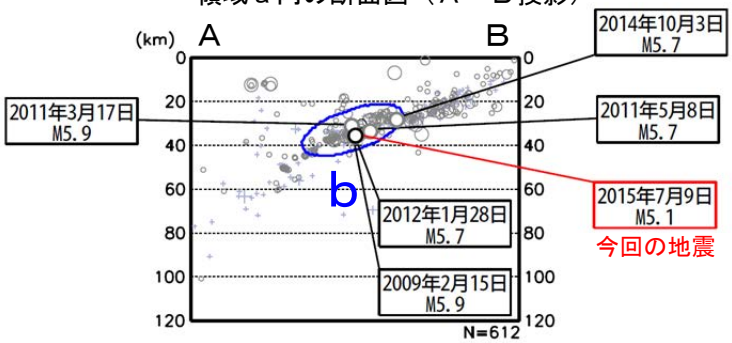
気象庁作成

７月９日　岩手県沖の地震

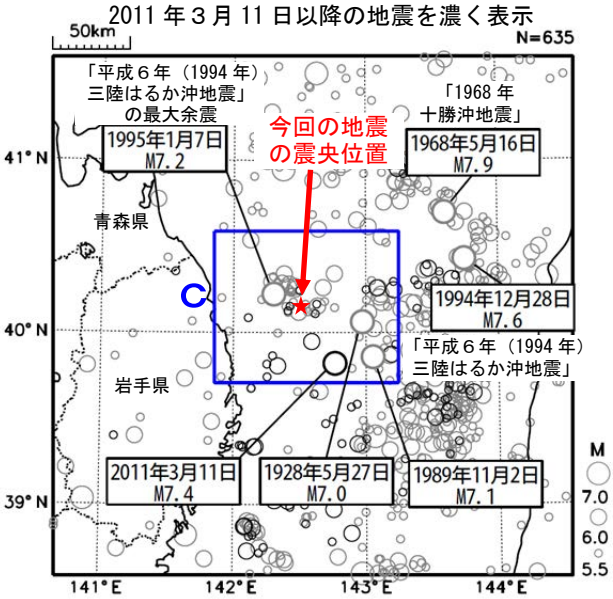
震央分布図
（1997 年 10 月１日～2015 年７月 31 日、
深さ０～120km、M≧3.0）
東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を＋
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○
2015 年７月の地震を濃い●で表示
図中の発震機構は CMT 解



領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



震央分布図
（1923 年１月１日～2015 年７月 31 日、
深さ０～150km、M≧5.5）
2011 年３月 11 日以降の地震を濃く表示

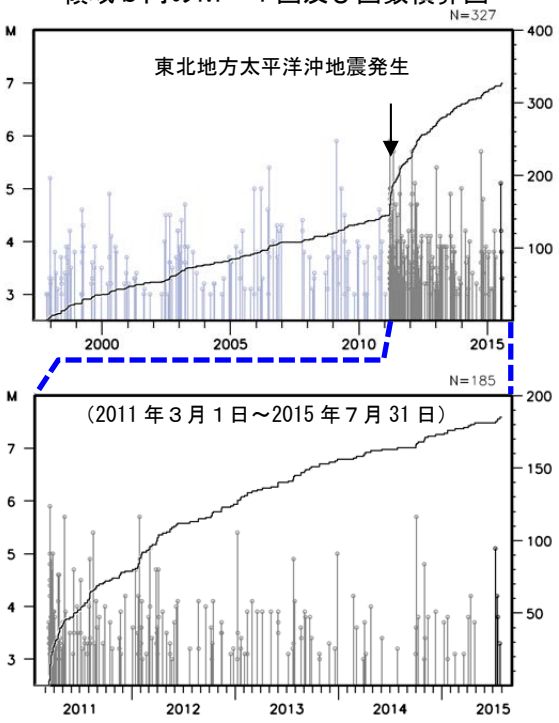


2015 年７月９日 17 時 27 分に岩手県沖の深さ 36km で M5.1 の地震（最大震度３）が発生した。この地震は発震機構（CMT 解）が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

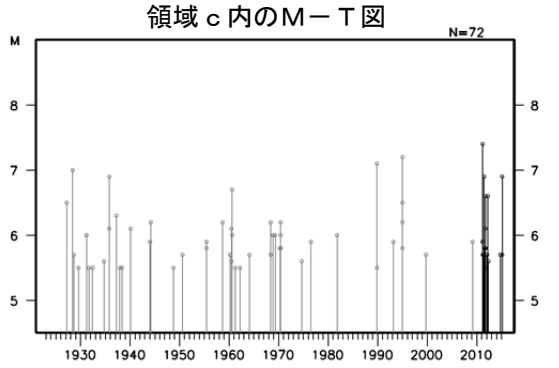
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、M5.0 程度の地震が時々発生していた。この領域では「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震活動が活発化している。

1923 年１月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域ｃ）では、1995 年１月７日に「平成６年（1994 年）三陸はるか沖地震」の最大余震（M7.2、最大震度５）が発生しているほか、M7.0 を超える地震が時々発生している。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ｃ内のＭ－Ｔ図

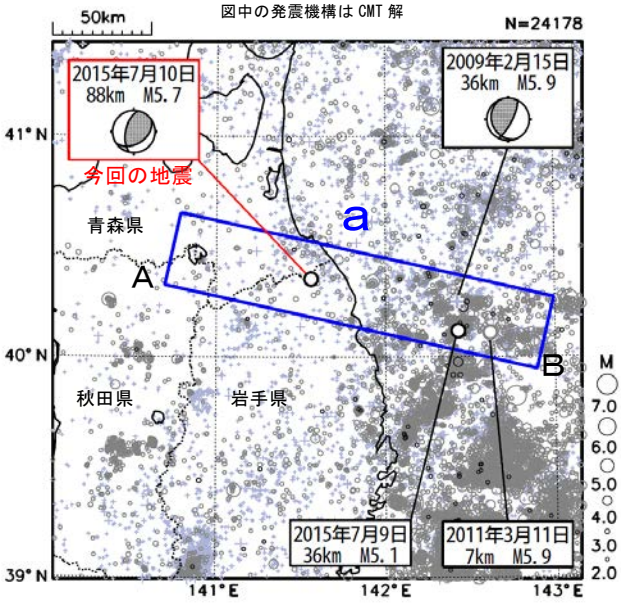


気象庁作成

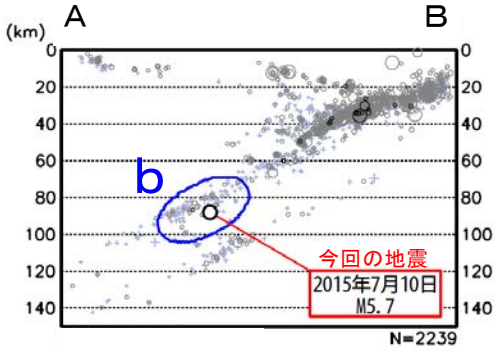
７月 10 日　岩手県内陸北部の地震

情報発表に用いた震央地名は〔岩手県沿岸北部〕である。

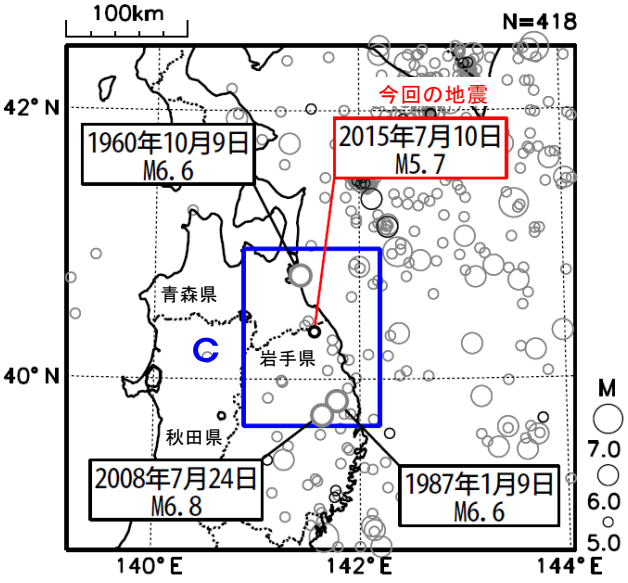
震央分布図
（1997 年 10 月１日～2015 年７月 31 日、
深さ０～150km、M≧2.0）
東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を＋、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、
2015 年７月の地震を濃い●で表示
図中の発震機構は CMT 解



領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



震央分布図
（1923 年１月１日～2015 年７月 31 日、
深さ 50～150km、M≧5.0）

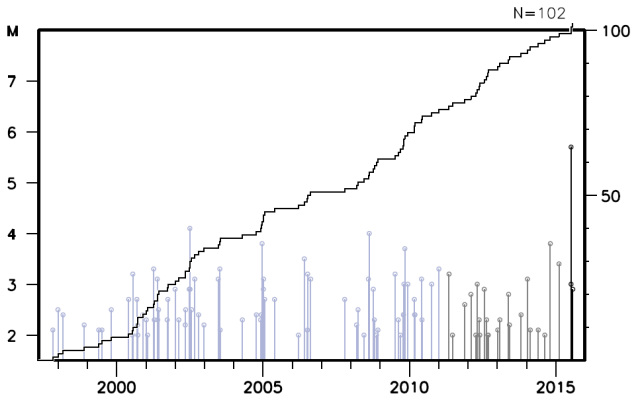


2015 年７月 10 日 03 時 32 分に岩手県内陸北部の深さ 88km で M5.7 の地震（最大震度５弱）が発生した。この地震は発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸をもつ型で、太平洋プレート内部で発生した。この地震により、負傷者２人の被害が生じた（総務省消防庁による）。余震活動は低調であった。

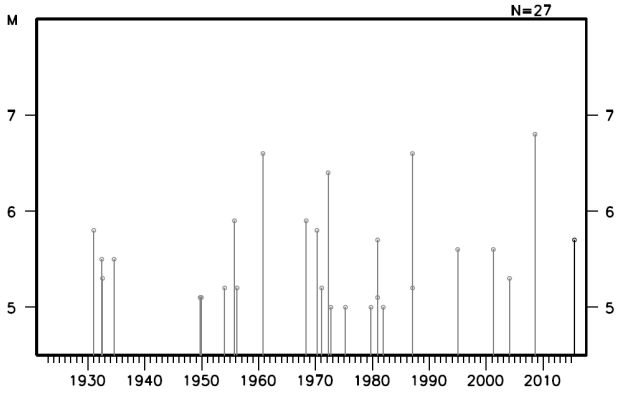
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、M5.0 を超える地震は発生していなかった。

1923 年１月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、2008 年７月 24 日に M6.8 の地震（最大震度６弱）が発生し、死者１人、負傷者 211 人、住家全壊１棟、一部破損 379 棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ｃ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成